

日本・アジア／米国間コンテナ貨物の荷動き動向について

(2018年3月〔往航〕速報値)

(公財) 日本海事センター 企画研究部

* 文中の%は、寄与度とシェア以外で特に記載がない場合は、対前年同期比を表します。

I. 往航（アジア 18ヶ国・地域→米国）の荷動き

(1) 2018年3月のアジア（18ヶ国・地域）から米国へのコンテナ荷動き量は、前年比3ヶ月連続の増加となる2.3%増の119.4万TEUと単月では2015年（129.5万TEU）に次ぐ過去2番目。前年の2017年3月は前年比の伸び率（14.5%増）が2017年で一番高かったことや春節の影響などもあり、伸び率は2.3%増にとどまったもののプラスを維持。1-3月の累計では前年同期比10.6%増の408.8万TEUと過去最高を更新するとともに400万TEU超えを記録。

* 1月は150.0万TEU（11.0%増）から149.5万TEU（10.7%増）に若干下方修正された。

* 2018年の春節は2月16日となっており春節の休暇は旧暦大晦日にあたる2月15日から2月21日の7連休。ちなみに2017年春節は1月27日から2月2日の7連休。

(2) 国別では、日本（1.2%減）、台湾（9.4%減）などは減少となったが、中国（1.5%増）、韓国（16.4%増）、ベトナム（6.6%増）、インド（14.5%増）などが増加。地域別では、ASEAN（1.0%増）、南アジア（11.3%増）ともに増加。

(3) 日本は、3ヶ月ぶりの減少となる1.2%減の6.1万TEU。品目別の2位（2016年の年計ベースの各国・地域の品目別順位、以下同様）の「車両機器及び部品」（2.5%増）及び「タイヤ及びチューブ」（11.2%増）が3ヶ月連続の増加となったものの、1位の「自動車部品」（1.7%減）が2ヶ月連続の減少となったことなどから前年比減少。

(4) 中国は、3ヶ月連続の増加となる1.5%増の71.2万TEU。1位の「家具及び家財道具」（4.3%増）、2位の「繊維及びその製品」（14.0%増）及び4位の「おもちゃ」（2.5%増）が3ヶ月連続の増加。香港は3ヶ月連続の増加となる3.2%増の1.9万TEU。

(5) 韓国は、3ヶ月連続の増加となる16.4%増の7.3万TEU。1位の「自動車部品」（9.4%増）が16ヶ月ぶりの増加、2位の「一般電気機器」（28.3%増）が4ヶ月連続の増加、4位の「車両機器及び部品」（15.9%増）が3ヶ月連続の増加。

(6) 台湾は、3ヶ月ぶりの減少となる9.4%減の4.6万TEU。1位の「建築用具及び関連品」（2.4%減）及び3位の「家具及び家財道具」（17.8%減）が3ヶ月ぶりの減少、2位の「自動車部品」（0.6%減）が4ヶ月ぶりの減少。

(7) ASEANは、マレーシア（7.8%減）、インドネシア（4.2%減）、タイ（0.6%減）などが減少となったものの、ベトナムが増加となったことなどにより、全体では23ヶ月連続の増加となる1.0%増の19.7万TEU。ベトナムは24ヶ月連続の増加となる6.6%増の7.3万TEUと好調を維持。1位の「家具及び家財道具」（24.5%増）が24ヶ月連続の増加、2位の「繊維及びその製品」（0.8%増）が7ヶ月連続の増加、3位の「履物及び附属品」（10.3%増）が9

ヶ月連続の増加。

(8) 南アジアは、パキスタン (6.2%減) 以外が増加となったことにより全体では12ヶ月連続の増加となる11.3%増の8.5万TEU。インドは12ヶ月連続の増加となる14.5%増の6.4万TEU。1位の「繊維及びその製品」(1.9%増)が3ヶ月連続の増加、2位の「家具及び家財道具」(21.6%増)が18ヶ月連続の増加。

(9) 品目別では、「家具及び家財道具」(寄与度1.5%増)、「繊維及びその製品」(同0.7%増)、「床材・ブラインド等のプラスチック製品」(同0.3%増)、「車両機器及び部品」(同0.3%増)などが増加に寄与。

(10) 船社別では、1位(2016年(確定値)年計ベースの船社別順位、以下同様)のCMA-CGM + APL/NOLが18ヶ月連続の増加となる18.2%増の18.9万TEU(1-3月累計のシェア:15.24%)、2位のEVERGREENは3ヶ月ぶりの減少となる11.6%減の11.3万TEU(同:9.78%)、3位のCOSCONは3ヶ月連続の増加となる15.3%増の12.8万TEU(注、同:10.52%)。

*COSCON+OOCLの2018年1-3月累計は17.41%。

邦船社ではKLINEが3ヶ月ぶりの減少となる19.7%減の5.6万TEU(1-3月累計のシェア:5.30%)、NYKは3ヶ月連続の増加となる5.5%増の6.4万TEU(同:5.21%)、MOLは18ヶ月連続の増加となる3.0%増の6.3万TEU(同:4.98%)。ちなみに邦船3社の2018年1-3月のシェアは15.49%。

(11) 中国積を船社別で見ると、1位(2016年(確定値)年計ベースの船社別順位、以下同様)のCMA-CGM + APL/NOLが13ヶ月連続の増加となる20.7%増の12.3万TEU(1-3月累計のシェア:16.06%)、2位のCOSCONは3ヶ月連続の増加となる12.6%増の9.9万TEU(注、同:12.94%)、3位のEVERGREENは2ヶ月ぶりの減少となる8.2%減の7.4万TEU(同:10.49%)。

*COSCON+OOCLの2018年1-3月累計は19.86%。

邦船社ではKLINEが2ヶ月ぶりの減少となる28.2%減の3.1万TEU(1-3月累計のシェア:5.18%)、NYKが3ヶ月連続の増加となる16.4%増の2.6万TEU(同:3.84%)、MOLは13ヶ月連続の増加となる11.7%増の2.3万TEU(同:3.32%)。ちなみに邦船3社の2018年1-3月のシェアは12.34%。

(注) 対前年同月比における前年値については、COSCONはCOSCOとCHINA SHIPPING、CMA-CGM + APL/NOLはCMA-CGMとAPL/NOLの合計値。

表-1 2018年3月:積国・地域別荷動き

国・地域	往 航				
	荷動量 (TEU)	前年比 (%)	シェア (%)	1-3月の 累計(TEU)	前年同期比 (%)
18ヶ国・地域 合計	1,194,040	2.3	100.0	4,088,826	10.6
日 本	61,421	▲1.2	5.1	163,216	3.4
韓 国	73,342	16.4	6.1	194,740	8.6
台 湾	46,341	▲9.4	3.9	156,138	5.2
中国+香港 計	731,141	1.6	61.2	2,704,263	11.8
中 国	712,197	1.5	59.6	2,632,972	12.0
香 港	18,944	3.2	1.6	71,291	5.6
マカオ	21	▲7.1	0.0	77	7.8
ASEAN 計	197,248	1.0	16.5	631,605	8.8
シンガポール	8,566	14.6	0.7	24,233	8.6
フィリピン	10,947	▲12.6	0.9	30,653	▲3.4
マレーシア	23,426	▲7.8	2.0	71,275	6.5
インドネシア	31,716	▲4.2	2.7	92,888	1.5
タ イ	43,252	▲0.6	3.6	132,475	13.8
ベトナム	73,460	6.6	6.2	261,798	9.8
カンボジア	5,433	42.1	0.5	16,651	39.8
ミャンマー	450	▲4.9	0.0	1,632	29.8
南アジア 計	84,527	11.3	7.1	238,787	13.1
スリランカ	3,911	14.9	0.3	12,107	17.2
バングラデシュ	8,274	7.1	0.7	25,331	5.1
パキスタン	8,364	▲6.2	0.7	25,100	0.7
インド	63,978	14.5	5.4	176,250	16.1

(注) 集計対象は、日本、韓国、台湾、中国、香港、マカオの他、ASEANのうちシンガポール、フィリピン、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマーの8ヶ国、南アジアではインド、パキスタン、スリランカ、バングラデシュの4ヶ国、合計18ヶ国・地域を対象としている。また、速報値ベースでの発表のため、後に若干の修正が加わる場合がある。

II. 品目別荷動き

- (1) 往航荷動き量を品目別にみると、荷動きを牽引している住宅関連 3 品目（「家具及び家財道具」、「建築用具及びその関連品」、「床材・ブラインド等のプラスチック製品」）の合計荷動き量は、3 ヶ月連続の増加となる 8.6%増の 27.8 万 TEU。

品目別でみると、「家具及び家財道具」は 3 ヶ月連続の増加となる 9.4%増の 19.2 万 TEU、「床材・ブラインド等のプラスチック製品」は 13 ヶ月連続の増加となる 8.3%増の 5.1 万 TEU、「建築用具及びその関連品」は 3 ヶ月連続の増加となる 4.5%増の 3.5 万 TEU。

- (2) 「繊維及びその製品」は 3 ヶ月連続の増加となる 8.1%増の 11.1 万 TEU。
- (3) 「一般電気機器」は 5 ヶ月ぶりの減少となる 0.9%減の 8.5 万 TEU、「テレビ・ビデオ等の映像・音響製品」は 3 ヶ月ぶりの減少となる 0.6%減の 3.1 万 TEU。
- (4) 「自動車部品」は 3 ヶ月連続の増加となる 4.6%増の 5.2 万 TEU、「タイヤ及びチューブ」も 3 ヶ月連続の増加となる 7.2%増の 4.1 万 TEU。

- (注) 「鋼材及びその製品」は 3 ヶ月連続で 10%を超える増加となる 13.5%増で 2.2 万 TEU（1－3 月の累計で 17.0%増）。「アルミ、銅などの非金属及びその製品」は 3 ヶ月ぶりの減少となる 0.2%減の 2.0 万 TEU（1－3 月の累計で 9.3%増）。

表-2 往航:2018年3月の品目別荷動き(上位10品目)

品目名	荷動量 (TEU)	前年比 (%)	寄与度 (%)	1-3月 前年同期比(%)	シェア (%)
1. 家具及び家財道具	191,555	9.4	1.5	15.3	16.0
2. 繊維及びその製品	110,847	8.1	0.7	11.7	9.3
3. 一般電気機器	84,906	▲0.9	▲0.1	11.5	7.1
4. 自動車部品	52,456	4.6	0.2	6.8	4.4
5. 床材・ブラインド等のプラスチック製品	51,439	8.3	0.3	18.2	4.3
6. タイヤ及びチューブ	40,978	7.2	0.2	13.0	3.4
7. 車両機器及び部品	35,535	10.7	0.3	22.4	3.0
8. 建築用具及び関連品	34,927	4.5	0.1	12.9	2.9
9. テレビ、ビデオ等の映像・音響製品	30,601	▲0.6	▲0.0	15.0	2.6
10. おもちゃ	29,666	2.7	0.1	7.3	2.5

Ⅲ. 国別品目別荷動き動向

表-3 往航:2018年3月の国別品目別荷動き(上位5品目)

	順位	品目名	TEU	前年比(%)	自国におけるシェア(%)
日本積	1位	自動車部品	15,166	▲1.7	24.7
	2位	車両機器及び部品	7,917	2.5	12.9
	3位	タイヤ及びチューブ	5,078	11.2	8.3
	4位	建設機械	4,365	17.9	7.1
	5位	テレビ、ビデオ等の映像・音響製品	3,168	21.0	5.2
中国積	1位	家具及び家財道具	129,503	4.3	18.2
	2位	繊維及びその製品	55,690	14.0	7.8
	3位	一般電気機器	60,793	▲1.5	8.5
	4位	おもちゃ	25,490	2.5	3.6
	5位	床材・ブラインド等のプラスチック製品	40,466	13.1	5.7
韓国積	1位	自動車部品	10,425	9.4	14.2
	2位	一般電気機器	8,193	28.3	11.2
	3位	タイヤ及びチューブ	5,923	▲8.3	8.1
	4位	車両機器及び部品	4,251	15.9	5.8
	5位	レジン等の合成樹脂	3,424	20.6	4.7
台湾積	1位	建築用具及び関連品	6,129	▲2.4	13.2
	2位	自動車部品	6,357	▲0.6	13.7
	3位	家具及び家財道具	3,012	▲17.8	6.5
	4位	床材・ブラインド等のプラスチック製品	2,762	▲19.7	6.0
	5位	鋼材及びその製品	2,088	17.5	4.5
ベトナム積	1位	家具及び家財道具	31,946	24.5	43.5
	2位	繊維及びその製品	10,188	0.8	13.9
	3位	履物及び附属品	6,509	10.3	8.9
	4位	魚及びその調整品	1,217	8.7	1.7
	5位	コンピュータ及び半導体	1,410	▲33.9	1.9
インド積	1位	繊維及びその製品	12,627	1.9	19.7
	2位	家具及び家財道具	3,673	21.6	5.7
	3位	セメント、石、砂、粘土等	2,422	▲5.1	3.8
	4位	文房具及び骨董品	2,717	24.4	4.2
	5位	鋼材及びその製品	3,304	27.6	5.2

注:2016年における各国の順位による

IV. 船社別荷動き動向

表-4 往航:船社別荷動きシェア(%)

順位	往航船社名	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年1-3月	最近の推移など
1	CMA-CGM + APL/NOL	13.41	13.52	13.54	14.79	15.24	18ヶ月連続の増加
	(CMA-CGM)	6.41	7.73	7.45	7.90	8.28	
	(APL/NOL)	7.00	5.79	6.09	6.89	6.96	
2	EVERGREEN	10.23	10.42	10.78	10.33	9.78	3ヶ月ぶりの減少
3	COSCON	10.95	11.21	10.13	10.16	10.52	3ヶ月連続の増加
	(COSCO)	6.58	6.64	8.45	10.16	10.52	
	(CHINA SHIPPING)	4.38	4.57	1.68	0.00	0.00	
4	MAERSK	10.03	8.79	9.35	9.34	9.53	3ヶ月ぶりの減少
5	MSC	6.53	6.74	7.60	7.99	8.13	3ヶ月ぶりの減少
6	KLINE	5.57	5.77	5.92	5.68	5.30	3ヶ月ぶりの減少
7	OOCL	4.72	4.72	5.25	6.35	6.89	13ヶ月連続で大幅な増加
8	YANG MING	5.01	5.21	5.15	5.10	5.03	2ヶ月ぶりの減少
9	NYK	4.57	4.61	4.74	5.10	5.21	3ヶ月連続の増加
10	HYUNDAI	5.23	4.50	4.67	5.47	5.22	2ヶ月ぶりの減少
11	MOL	4.59	4.50	4.58	5.10	4.98	18ヶ月連続の増加
12	HAPAG-LLOYD	4.42	4.12	4.43	4.63	5.59	9ヶ月連続の増加
	OTHERS	14.73	15.88	13.87	9.97	8.57	6ヶ月ぶりの減少
	TOTAL	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	

表-5 往航:中国積・船社別荷動きシェア(%)

中国積

順位	往航船社名	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年1-3月	最近の推移など
1	CMA-CGM + APL/NOL	12.78	13.37	13.67	15.53	16.06	13ヶ月連続の増加
	(CMA-CGM)	7.49	8.88	8.40	8.99	9.24	
	(APL/NOL)	5.28	4.49	5.28	6.53	6.82	
2	COSCON	14.38	14.63	13.02	12.63	12.94	3ヶ月連続の増加
	(COSCO)	8.40	8.43	10.76	12.63	12.94	
	(CHINA SHIPPING)	5.98	6.20	2.26	0.00	0.00	
3	EVERGREEN	10.54	10.89	11.46	11.07	10.49	2ヶ月ぶりの減少
4	MAERSK	9.32	8.24	9.10	8.88	8.82	2ヶ月ぶりの減少
5	MSC	7.54	6.99	7.91	7.93	8.28	3ヶ月ぶりの減少
6	KLINE	5.65	5.96	6.09	5.66	5.18	2ヶ月ぶりの減少
7	YANG MING	5.58	5.84	5.72	5.49	5.28	2ヶ月ぶりの減少
8	OOCL	4.03	4.07	4.63	6.15	6.92	13ヶ月連続で大幅な増加
9	HAPAG-LLOYD	3.65	3.18	3.58	3.90	4.82	3ヶ月連続の増加
10	HYUNDAI	4.34	3.76	3.58	4.31	4.07	2ヶ月ぶりの減少
11	NYK	3.33	3.33	3.42	3.72	3.84	3ヶ月連続の増加
12	MOL	3.29	2.96	2.84	3.32	3.32	13ヶ月連続の増加
	OTHERS	15.58	16.75	14.96	11.42	9.98	6ヶ月ぶりの減少
	TOTAL	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	

* 2014-2016年のCOSCONの数値はCOSCOとCHINA SHIPPINGとの合計値(シェア)

* 2014-2018年のCMA-CGM + APL/NOLの数値は両社の合計値(シェア)

* 単位は%。順位は2016年を基準とし、2017年は暫定値。

V. コンテナ運賃の動向

表-6 往航:コンテナ運賃の推移(2017年/2018年対比)

(1)EASTBOUND			(Drewry:Container Freight Rate Insight)												2018年4月5日		
積地	向け地			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
Shanghai (China)	Los Angeles (U.S.A)	2017年	20ft	1,830	1,820	1,320	1,350	1,380	1,150	1,190	1,500	1,400	1,240	1,260	1,120		
			40ft	2,300	2,270	1,650	1,660	1,690	1,460	1,520	1,910	1,790	1,600	1,620	1,420		
		2018年	20ft	1,270	1,360	1,060											
			40ft	1,630	1,740	1,410											
		前年比	20ft	-30.6%	-25.3%	-19.7%											
			40ft	-29.1%	-23.3%	-14.5%											
Shanghai (China)	New York (U.S.A)	2017年	20ft	2,840	2,660	2,380	2,240	2,180	1,920	1,990	2,290	2,020	1,670	1,770	1,700		
			40ft	3,570	3,420	3,000	2,770	2,720	2,420	2,520	2,910	2,500	2,150	2,270	2,130		
		2018年	20ft	2,300	2,350	1,860											
			40ft	2,910	3,090	2,420											
		前年比	20ft	-19.0%	-11.7%	-21.8%											
			40ft	-18.5%	-9.6%	-19.3%											
Yokohama (Japan)	Los Angeles (U.S.A)	2017年	20ft	1,710	1,650	1,610	1,570	1,600	1,580	1,510	1,760	1,600	1,530	1,530	1,470		
			40ft	2,090	2,010	1,960	1,910	1,920	1,930	1,840	2,150	1,950	1,870	1,870	1,800		
		2018年	20ft	1,550	1,600	1,500											
			40ft	1,890	1,960	1,830											
		前年比	20ft	-9.4%	-3.0%	-6.8%											
			40ft	-9.6%	-2.5%	-6.6%											
Yokohama (Japan)	New York (U.S.A)	2017年	20ft	2,810	2,920	3,050	2,680	2,860	2,680	2,440	2,750	2,490	2,310	2,280	2,410		
			40ft	3,380	3,500	3,650	3,200	3,420	3,190	2,900	3,310	2,890	2,750	2,700	2,880		
		2018年	20ft	2,780	2,750	2,540											
			40ft	3,380	3,300	3,060											
		前年比	20ft	-1.1%	-5.8%	-16.7%											
			40ft	0.0%	-5.7%	-16.2%											

表-7 米国内地域別(西岸/東岸/ガルフ)荷動きの構成比の推移

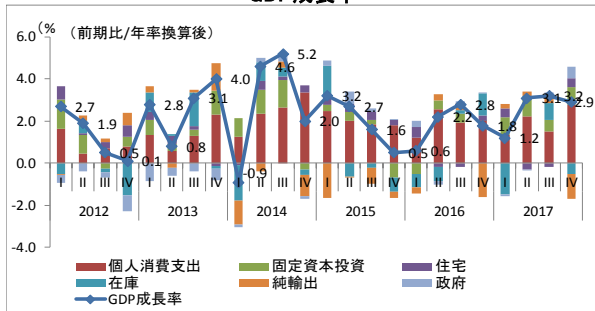
米国内地域 集計年(月)	往 航			復 航		
	西岸揚 (%)	東岸揚 (%)	ガルフ揚 (%)	西岸積 (%)	東岸積 (%)	ガルフ積 (%)
2015年2月	60.8	35.9	3.3	58.5	37.1	4.3
3月	65.6	32.0	2.5	56.9	38.6	4.5
4月	65.2	31.5	3.3	58.3	37.6	4.1
5月	65.1	31.9	3.0	60.1	35.5	4.5
6月	64.8	32.8	2.4	58.0	38.6	3.4
7月	64.0	33.3	2.7	60.9	35.3	3.8
8月	67.1	30.5	2.4	63.1	33.7	3.3
9月	64.9	32.5	2.7	57.9	38.1	4.0
10月	64.3	33.3	2.4	60.6	36.1	3.4
11月	66.8	30.8	2.3	59.0	37.5	3.5
12月	64.7	32.1	3.2	59.3	36.2	4.5
2016年1月	65.8	31.4	2.7	56.9	38.9	4.2
2月	64.1	33.0	2.9	59.8	35.9	4.3
3月	60.9	36.2	2.9	60.3	35.4	4.4
4月	65.6	31.5	2.9	60.7	35.4	4.0
5月	65.8	31.6	2.6	58.7	37.3	4.0
6月	64.9	31.9	3.2	58.9	36.6	4.5
7月	64.0	32.6	3.4	61.2	34.4	4.4
8月	63.8	32.9	3.3	60.1	35.5	4.4
9月	64.0	32.5	3.5	60.3	35.1	4.6
10月	63.6	32.6	3.8	60.9	34.5	4.5
11月	65.2	31.2	3.6	60.4	35.0	4.5
12月	64.7	31.8	3.5	58.8	35.6	5.6
2017年1月	63.5	33.0	3.5	52.3	41.0	6.6
2月	59.1	37.0	4.0	57.2	36.8	6.0
3月	64.7	31.5	3.8	59.4	34.7	5.9
4月	63.8	32.7	3.5	56.9	38.1	4.9
5月	64.8	32.0	3.2	57.6	37.8	4.6
6月	62.9	33.1	4.1	57.2	37.9	4.9
7月	63.3	32.6	4.1	56.3	38.4	5.3
8月	64.4	32.2	3.3	58.6	36.4	5.0
9月	60.4	34.8	4.9	58.3	36.6	5.1
10月	59.8	35.7	4.5	55.6	39.2	5.2
11月	65.7	30.2	4.1	57.5	37.7	4.8
12月	62.6	33.6	3.9	56.0	38.3	5.7
2018年1月	62.7	33.5	3.8	56.0	38.9	5.1
2月	62.3	33.7	4.0			
3月	55.5	39.5	5.0			

(参考) 荷動きに関連する米国の経済指標・動向

2018年4月作成 米国経済:回復基調を維持

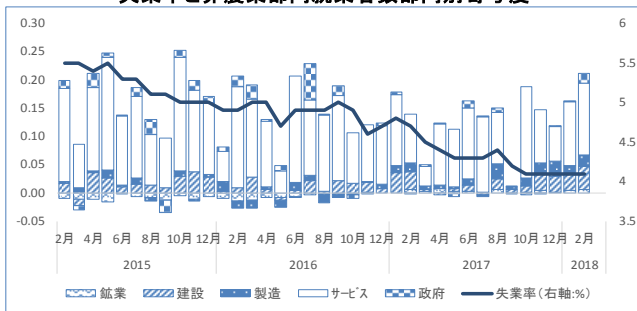
- ◆2017年第4四半期のGDP成長率(年率換算,確報値)は、2.9%増に上方修正。個人消費、在庫投資が上方修正。
- ◆2月の失業率は4.1%で5ヶ月連続で横ばい。非農業部門全体は31.3万人増。2017年後半以降建設、製造部門の雇用も伸びている。
- ◆鉱工業生産指数及び設備稼働率は2016年3月を底に回復基調に転じ、2018年も回復基調を維持。
- ◆ガソリン価格及び先行指標であるWTI価格は2014年8月以降急落していたが、2016年3月を底に上昇基調を示す。
- ◆2018年の住宅着工件数、および住宅販売は上昇基調を示す。
- ◆18年小売売上高は、個人消費を中心に伸びている。
- ◆2014年10月開催の連邦公開市場委員会(FOMC)定例会で量的緩和(QE3)終了に。15年12月以降段階的に利上げを実施。17年12月のFOMCで半年ぶりの利上げを決定。次回FOMCは5月1-2日。

GDP成長率



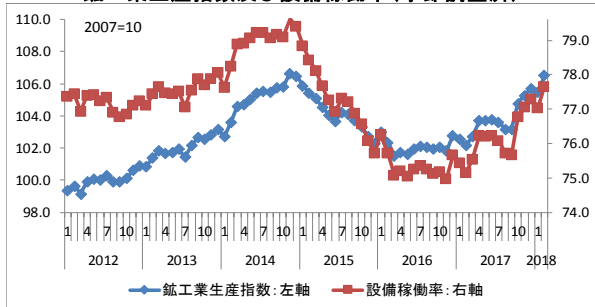
(米国商務省経済分析局)

失業率と非農業部門就業者数部門別寄与度



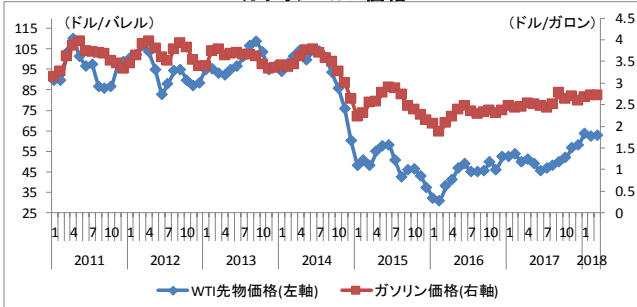
(米国労働省統計局)

鉱工業生産指数及び設備稼働率(季節調整済)



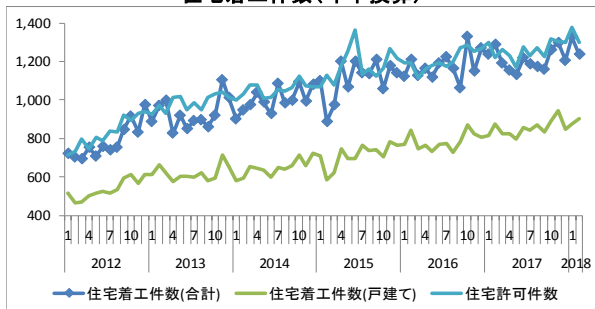
(米国連邦準備制度理事会)

ガソリン・WTI価格



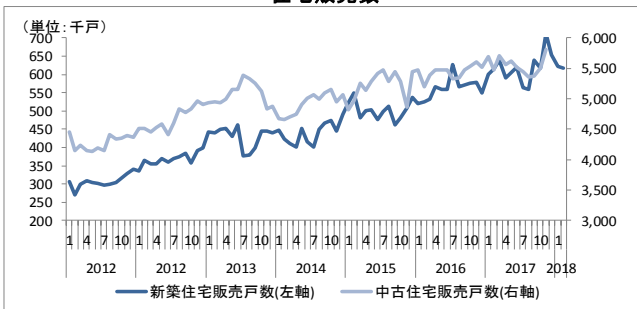
(米国エネルギー情報局)

住宅着工件数(年率換算)



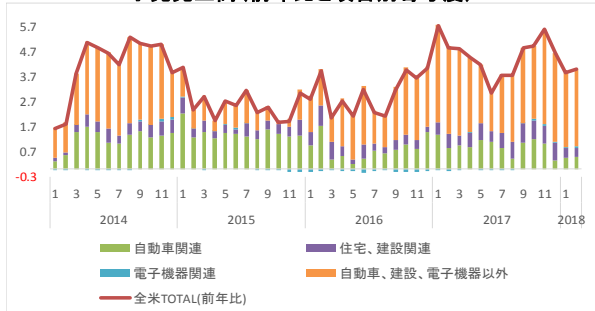
(米国商務省センサス局)

住宅販売数



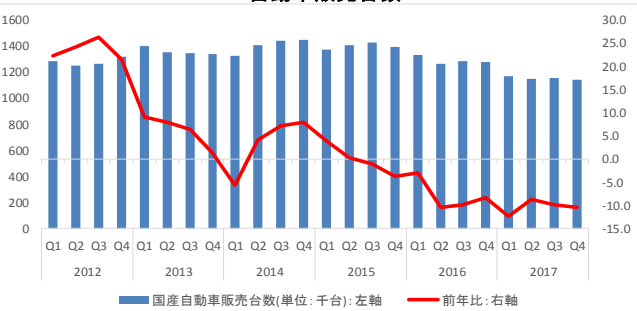
(米国商務省センサス局)

小売売上高(前年比と項目別寄与度)



(米国商務省センサス局)

自動車販売台数



(米国商務省経済統計局)